

いずみの園だより

その

vol. 93

春号

2025.4.25

事業団だより合併号



信望愛

それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大きいものは愛である。 コリントの信徒への手紙Ⅰ13:13

基本理念

神と人とに仕えるキリスト教の愛と奉仕の精神を基本理念とする

●アメニティ(快適主義) ●ヒューマニティ(人間主義) ●ローカリティ(地域主義)



全世代を支える
「福祉のまちづくり」を目指して

2025年度 事業計画
事業団だより・法人報告
新卒職員紹介

連載企画

■テクノロジー活用による生産性の向上

■私たちの魅力

韓国

「スンシルサイバー大学」

「社会福祉法人道山」

見学研修

2025年

入職式

辞令交付式



2024年度第3回理事会が開かれました



理事会の様子

3月21日（金）、10時30分から2024年度の第3回理事会が、いずみの園総務会議室で行われました。

第1号議案「2024年度第2次補正予算（案）に関する件」、第2号議案「2025年度事業計画（案）に関する件」、第3号議案「2025年度予算（案）に関する件」、第4号議案「施設隣地（永添2744）の土地購入協議申入れに関する件」、第5号議案「いずみの園組織・人事に関する件」、第6号議案「各規程の改正に関する件」、第7号議案「次期役員候補者（案）に関する件」、第8号議案「次期評議員候補者に関する件」について、それぞれ審議され、全て全会一致で決議されました。続いて報告事項として「めぐみ保育園行政指導監査報告」「グレース保育園行政指導監査報告」があり、全て了承され散会しました。（法人本部事務局）

人事関係

2024年11月2日以降

① 昇格

2025年 1月 1日	島元 春樹	共生サービス事業部	就労支援事業課	課長
4月 1日	友清 賢	総務部		次長
	河野 英之	かきざサポートセンター	相談課	次長
	江利角咲絵	特別養護老人ホーム	看護課	主任
	草地由美子	特別養護老人ホーム	看護課	主任
	松吉美由紀	特別養護老人ホーム	相談支援課	主任
	吉田友里恵	特別養護老人ホーム	就労支援事業課 いずみの丘ハレルヤ・ペテルハウス	主任
	大島加奈美	共生サービス事業部	多世代交流課 児童クラブピーター・子育て支援センターポール	主任
	西野 克子	かきざサポートセンター		

② 異動 役職者

2025年 4月 1日	豊田 毅士	在宅サービス事業部	多世代交流課	部長
	田中 伸治	共生サービス事業部	中津市地域包括支援センター・地域公益課 兼務	次長
	河野 和樹	かきざサポートセンター	介護保険サービスセンター	課長
	須崎 敏治	在宅サービス事業部	相談課	課長
	瀧澤由美恵	在宅サービス事業部		課長
	原田あずさ	特別養護老人ホーム		主任

③ 異動 一般職

2025年 3月 1日	厚ヶ瀬桂子	かきざサポートセンター	かきざグループホーム	介護員兼計画作成担当者
4月 1日	永添智恵美	総務部	マリアガーデン	保育士
	相良 保子	特別養護老人ホーム	介護課	介護員
	水嶋 裕介	特別養護老人ホーム	介護課	介護員
	北村 恵	特別養護老人ホーム	介護課	介護員
	木下みゆき	在宅サービス事業部	デイサービス課 リハビリセンターふれあい館	機能訓練員
	幾留 暢子	かきざサポートセンター	多世代交流課 児童クラブピーター・子育て支援センターポール	児童指導員
	是石美和子	かきざサポートセンター	かきざグループホーム	介護員
	中村 彩花	かきざサポートセンター	かきざグループホーム	介護員
	今藤 健	共生サービス事業部	就労支援事業課 ワークセンターシャローム	生活支援員
	樺澤亜衣子	在宅サービス事業部	中津市地域包括支援センター	認知症地域支援推進員
	富永奈津子	共生サービス事業部	中津市障がい者等基幹相談支援センター	相談員
	永松 楓	共生サービス事業部	中津市障がい者等基幹相談支援センター	相談員
	曾我 由美	ケアマンション聖愛ホーム		介護員

④ 新採用職員

2024年11月16日	中尾 博子	かきざサポートセンター	寄り合いセンターいずみ	介護員
12月 1日	藤田美千代	在宅サービス事業部	訪問介護課	ホームヘルパー
12月 4日	横川 和美	総務部	マリアガーデン	保育士
2025年 2月 4日	真砂 武美	総務部	総務課	庶務
3月 1日	田邊 千尋	かきざサポートセンター	かきざグループホーム	介護員
4月 1日	豊田 大翔	特別養護老人ホーム	介護課	介護員
	松下 尚樹	かきざサポートセンター	多世代交流課 児童発達支援・放課後等デイサービスマルコ	児童指導員
	森若 光	かきざサポートセンター	寄り合いセンターいずみ	介護員
	高尾 裕子	在宅サービス事業部	中津市地域包括支援センター	介護支援専門員
	前田 裕司	かきざサポートセンター	かきざグループホーム	介護員
4月 7日	中島三佐江	特別養護老人ホーム	看護課	看護師

（以上 2025年4月7日まで）

1. 基本方針『全世代型社会保障制度といずみの園・福祉のまちづくり』の推進

今日、日本の少子高齢化、人口減少、人口構造の変化は急激に進んでおり、2024年の出生数は70万人を切ったと言われています。因みに戦後の第1次ベビーブームの1947年(昭22)には268万人の赤ちゃんが誕生していました。ところが日本の人口は2008年をピークに減少が始まり、2040年には1,500万人減り1億1,000万人となります。問題は生産年齢人口(就労者)が2,100万人減り、高齢者が1,000万人増加することです。高齢化率36%、4,000万人の高齢者を6,000万人の現役で支える時代となります。社会保障給付費は2018年度120兆円を超えましたが、このまま行くと2025年度140兆円、2040年度には年金1.3倍、医療1.7倍、介護2.4倍、合計190兆円に近づく予想されています。これが「2040年問題」です。

今日の社会保障制度継続の危機感の中で、2017年に国は「地域共生社会」を打ち出し、2019年には「全世代型社会保障会議」を設置しました。人生100年時代を見据え、高齢者だけでなく、子供たち、子育て世代、さらに現役世代まで幅広く安心を支えていくために、年金、労働、医療、介護、少子化対策など、社会保障全般にわたる持続可能な改革を目指しました。①高齢者の介護・認知症予防、健康寿命の延伸 ②高齢者の雇用、社会参加の促進 ③医療・福祉サービス

改革など高齢者対策に加え、日本の未来を担うのは子供たちとして ①不妊治療の保険適用 ②児童手当の見直し ③保育待機児童解消 ④男性育児休業取得推進など少子化対策、子育て支援の推進を図りました。

いずみの園は「施設改革3カ年戦略」(1997-1999)で2000年の新介護保険制度を乗り切り、さらに時代の流れを読みながら、2012年「いずみの園新5カ年プラン」を策定し、①中津総合ケアセンターいずみの園構想の策定と推進 ②障がい事業の開発 ③共生型かきざサポートセンター事業の推進 ④サービスの質の確保 ⑤職員のワークライフバランスの推進等を目指しました。

社会福祉法人の在り方が問われる中で、高齢者、障がい者、児童の3福祉の確立を図り、2016年には基本方針として「福祉のまちづくり」を掲げ、「地域共生社会」「全世代型社会保障制度」を目標に行政をはじめ医療、福祉関係、ボランティア団体、自治会、学校、商工会議所、消防、警察等地域と連携を図り、市民全体を支える「福祉のまちづくり」を目指しました。

これからは「2040年問題」を眼中に、「福祉のまちづくり」の中長期経営計画が必要になります。



2. 重点課題

①経営マネジメントの改善、経営の安定

- ・事業収入の回復、確保
- ・事業経費の節減、見直し
- ・中長期経営計画

②福祉のまちづくりの推進

- ・地域包括ケアシステム
地域共生社会の推進
- ・こども未来戦略
- ・子ども、子育て世代、現役世代の社会的支援
(これまで子育て支援は年金・医療・介護制度の1/13)
- ・人生100年時代の地域づくり、施設づくり
子育て支援、多世代交流
健康寿命の延伸、自立支援、介護、認知症予防
高齢者雇用、社会参加、老後のQOL
- ・地域公益課 地域の生活課題一貧困、引きこもり、就労支援、8050支援
- ・行政、福祉、自治会、医療、学校、商工会議所、消防、警察との幅広い連携

③新時代の老人ホーム

- ・「地域づくり・地域のリーダーとしての役割一誇りと責任」
- ・福祉職場の魅力発信・PR
- ・最先端の知識と高い技術
- ・LIFE(科学的介護情報システム)
- ・テクノロジーの活用(ICT、介護ロボット)

④働き方改革、健康経営、人材確保

- ・WLB(ワークライフバランス)、メンタルヘルス対応
- ・福祉介護のイメージアップ
「人の幸福を目指し、人の尊厳を守る」
「使命感・ミッション」「遣り甲斐」
- ・処遇改善、職場環境の改善
- ・障がい者、高齢者、子育て世代、女性の雇用促進



2025年度 九州キリスト教社会福祉事業団・事業計画

1. 法人本部事業計画

- | | |
|--------------|-------------------|
| (1) 理事会の開催 | 年4回(6月×2回、12月、3月) |
| (2) 評議員会の開催 | 年1回(6月) |
| (3) 監事の監査 | 年1回(5月) |
| (4) 役員の研修 | |
| (5) 後援会活動の強化 | |

2. 組織

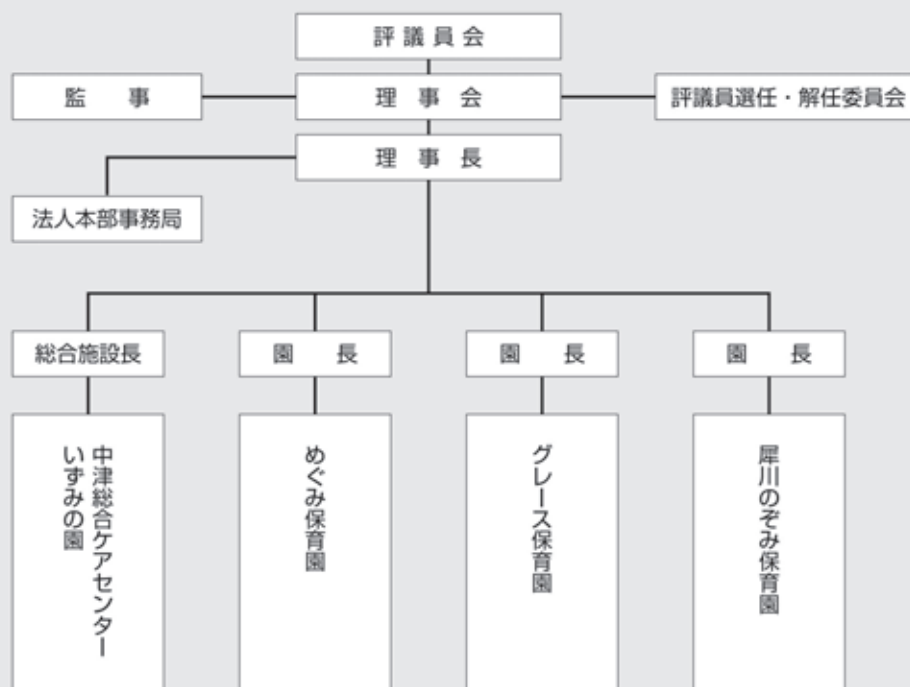
- (1) 本 部 大分県中津市永添2744番地 特別養護老人ホームいずみの園

- (2) 役 員
- | | | | | | |
|-----|-------|-------|-------|-------|--|
| 理事長 | 富永 健司 | | | | |
| 理 事 | 佐藤 靖久 | 千嶋 敏夫 | 滝口 真 | 多田 満 | |
| | 大継 徹朗 | 廣安慎太郎 | 堂本 高雄 | 谷口 弘美 | |
| 監 事 | 金枝 豊治 | 平原 伸 | | | |
- (任期：2023年6月27日～2025年定時評議員会)

- (3) 評議員
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 安藤 元博 | 可児 勝代 | 川島 直道 | 清源万里子 |
| 熊井カホル | 高山 優治 | 福成 清子 | 古川 信房 |
| 古江 信一 | 吉田 秀久 | | |
- (任期：2021年6月23日～2025年定時評議員会)

- (4) 事務局 堂本 高雄 友清 賢 末延 政光 小松 証子

3. 組織図



2024年度 献金報告

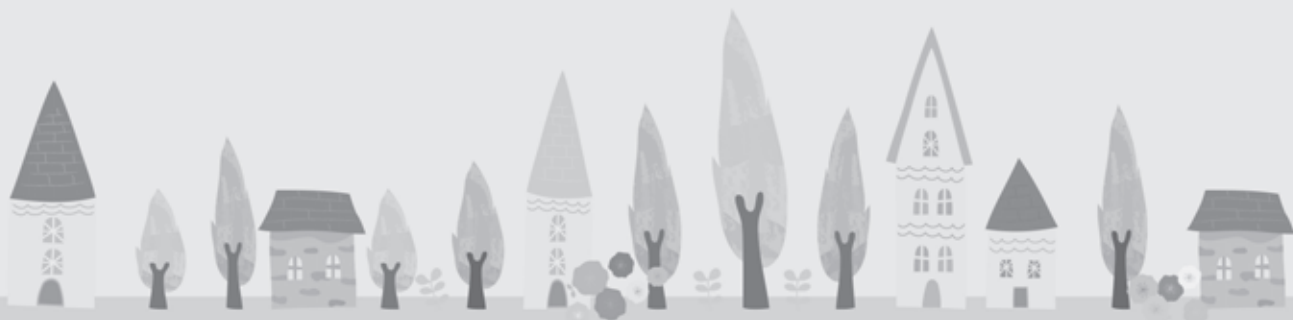
(敬称略させていただきます)

● 個人・団体の部 ●

赤坂喜生	㈱一粒社ヴォーリス 建築事務所	㈱セカンドケア	東島幸子・ 田村節子・ 櫻井芳恵	湯元睦美
赤嶺琴美		滝口真		吉高叶
明渡文子	賀来悦子	多田満	久恒薫	吉高國彦
(有)井上商会	河田貞子	橋敬子	福岡市民クリス マス実行委員会	吉高美籠
伊庭良枝	木佐貫重子	千代良枝		老人はげみの 里見会
上本恵子	佐藤雅子	崩口サヨ子	藤本妙子	
白木孝	司城理恵	富永安子	堀正三	
大塩マチ子	伸和建設㈱	中西ちか子	宮崎千枝子	
大島義太郎	伸和建設㈱・ 豊建設工業㈱・ ㈱九電工	中村卿子	山城順	
落合節子		浜崎カツ江	山本朝子	

● 教会関係の部 ●

(教会：大分県内)	(教会：九州)	門司教会	(学校・保育園・幼稚園)
宇佐教会	国分教会	門司大里教会	周船寺第二幼稚園
大分教会	津屋崎教会	八代教会	
大分東教会	錦ヶ丘教会		(教会婦人会)
杵築教会	九州教区事務所	(教会：九州以外)	小倉東篠崎教会
中津教会	福岡中部教会	岡山信愛教会	シャロンの会
別府野口教会壮年会	福岡城東橋教会		
三重教会	福岡女学院教会		
由布院教会	福岡渡辺通教会		



献金のお礼

2024年度も当事業団の働きのために多額の尊いご献金を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、ご高承の通り、昨今の福祉を取り巻く環境は依然として厳しい状況におかれています。いずみの園や各保育園での働きは順調に推移しております。これもひとえに、常日頃ご支援を頂いております皆様のお陰と、関係者一同心より感謝しております。

いずみの園では、1978年の事業開始時に建築した建物の老朽化が進み、2023年度に建て替えを行いました。2024年4月からショートステイ棟として事業を開始し、運営が順調に推移しています。

今後とも、皆様の絶大なるご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

2025年4月

理事長 富永 健司

献金額の推移

単位：円

2012年度	11,423,331
2013年度	6,396,204
2014年度	13,283,893
2015年度	17,664,897
2016年度	48,188,784
2017年度	4,437,895
2018年度	33,479,312
2019年度	33,362,605
2020年度	34,132,314
2021年度	28,067,601
2022年度	4,389,350
2023年度	1,784,910
2024年度	2,789,900

▼献金のご案内▲

【献金使途】

- 1 法人のため
- 2 特別養護老人ホームいずみの園のため
- 3 ケアマンション聖愛ホームのため
- 4 めぐみ保育園のため
- 5 グレース保育園のため
- 6 犀川のぞみ保育園のため
- 7 その他

【送金方法】

① 現金送金

大分県中津市永添二七四四

いずみの園内

② 銀行振込

大分銀行 大貞支店

口座番号 普 6379

③ 郵便振替口座払込

ゆうちょ銀行

口座番号

01750・8・130861

【名義】

社会福祉法人

九州キリスト教社会福祉事業団

理事長 富永 健司

(この寄付金は所得税法及び法人税法により税の控除の対象となります)

ケアマンション

聖愛ホーム

ホーム長 橋本 由美

聖愛ホームは、今年開設30周年を迎えます。

2024年

度は5名の入居者が退去し、同じく5名の新入居者をお迎えすることができました。

現在は男性

8名、女性42名で、平均年齢86歳です。69歳から100歳まで幅広い年齢層の方々が元気に生活されています。

昨年からは、多くの方々が外出や旅行を楽しんでいます。また、遠方の家族の方々が3組聖愛ホームに泊まられて、楽しいひと時を過ごされました。

四季に応じてバスドライブを行い、水族館や買い物、花見などを楽しまれ活気あふれる日常が戻ってきています。

聖愛ホームの職員も協力して感染症の予防に努め、入居者の方々が幸福に過ごせるように努力していきたいと思っています。



春の桜と聖愛ホーム

めぐみ保育園

(大分東教会)



園長 大継 徹朗

2024年度も主の御護りと恵みのうちに保育を無事に終えることが出来たことを感謝し、主の御名を誉め讃えます。

九州教区の祈りによつて大分東教会が誕生し、現在地（大分市の臨海工業地



クリスマス・ページェント

域）に事業団創設の基となっためぐみ保育園が開園して58年になります。4月に入り12名の新入園児が与えられ、2025年度は園児数89名、職員数24名からのスタートとなりました。今年度も新しい職員が与えられ、なんとか日々の保育に勤しむことが出来ています。

「平和」「人権」「いのち」を大切にして職員一同、心を合わせて前進し、聖書の御言葉に励まされながら隣人を愛する気持ちを強くして、子どもたちとその家族の笑顔のために、そして地域における子育て支援のために力を尽くしていくことが出来ればと願っています。

グレース保育園・犀川のぞみ保育園と共にめぐみ保育園を覚えて、今年度もお祈りお支えいただきましたら幸いに存じます。

2025年度も宜しくお願いいたします！

犀川のぞみ保育園

(犀川教会)



園長 池上 信也

この数年「不思議な導き」が続きます。2024年春は17名の園児でスタートし、大きな赤字を覚悟していましたが、途中入園と補助金増額により首の皮一枚で終えられそうです。地域の少子化による園児減少は回復の兆しなく、利用定員を最低の20名に下げた届を出しました。2025年度は申し込み締切時点で新入園児がありませんでしたが、3月に入って駆け込むように3名の新入園児が現れ、16名の園児で4月を迎えます。

昨年度より1名少なく、またもや最少人数更新ですが、定員を30名から20名に下げたため在園率では昨年より23ポイント上昇となり、職員の減もあつて運営的には少しゆとりが生まれそうです。財政的に出せなかった求人もしました。応募者があれば良いのですが…。

犀川地区最古の当園は64年目の歩みをはじめます。保護者や職員に卒業生が6名いて、親・子・孫3代にわたる利用者もあるというのは、長い歴史あつてのことでしょう。その長きにわたつて神様が導いて

くださつたことを忘れずに、日々の物語を紡いで行きたいと願っています。



2024年度は園児22名・職員15名

グレース保育園

(中津教会)



園長 廣安慎太郎

3月22日、第51回卒園礼拝がもたれ、17人の園児がグレース保育園を卒園しました。今年度は新入園児9人を迎え、新年度は園児数77人でスタートします。新年度の年主題は「ともに」（イザヤ書43章5節）です。



卒園式の様子

乳幼児期は、土台作り、基礎工事の時代と言われています。土台がしっかりしてないと家は立ちません。又土台は見えてきません。乳幼児期は人を信じることに、自分を信じることに基礎づくりの時と言われています。

その信じる力のもことになるのは、「守られている」「大切にされている」という安心感です。

内なる人の成長のために、グレース保育園では礼拝を大切にしています。礼拝を通して神様の愛を子ども達に伝えていきます。どこにいても、「神様に愛されている」「大切にされている」「守られている」ということを体験してほしいと願っています。

2024年度は創立50周年を迎えましたので、今年度は、飛躍の年としていきたいと願っております。少子化の影響も受けておりますが、良い保育に尽力して、神様の御業をあらわす保育園となりたいです。通常の保育をブログで日々更新して掲載していきますので、是非ご覧くださり、グレース保育園の保育を理解して頂ければ幸いです。

どうぞ、これからもお支えをお願いします。

テクノロジー活用による生産性の向上

看取りケア × テクノロジー ～機械がくれた機会～



特別養護老人ホームいずみの園
介護課 介護福祉士 岩本 雄斗
社会福祉士



写真① 発表の様子



実践研究大会

「テクノロジー活用による生産性向上の取り組み」3回目となる今回は、昨年10月に開催された大分県高齢者施設等実践研究大会に参加してきましたので、その発表内容についての解説をさせていただきます(写真①)。

〈発表概要〉

終末期の定義「病気や老衰によって、複数の医師が客観的な情報をもとに、治療により病気の回復が期待できないと判断すること」(終末期医療に関するガイドラインより)

終末期の方に対するケアとして、看取りケア・ホスピスケア・緩和ケアなどいくつかの言葉で表されています。それら全てに共通するのは、対象者の苦痛を出来るだけ軽減することとされています。これは医

療やケアの基本的な考え方であり、その方の治療よりも、その方のQOLを優先して考えることが基本となっています。

昨今では、テクノロジーと介護現場のフラッシュアップが図られてきており、質の高い終末期ケアを提供するにあたっては、対象者の家族や関連する専門職などの人的支援に加え、医療介護の機器・器具等のテクノロジー活用も欠かせない資源となっています。今回導入したaams(写真②)な



どの見守りシステムによって、関わる支援者の身体的・精神的負担を緩和しながらケア遂行を実現できることは、従来ケアから大きく変化をもたらしてくれ



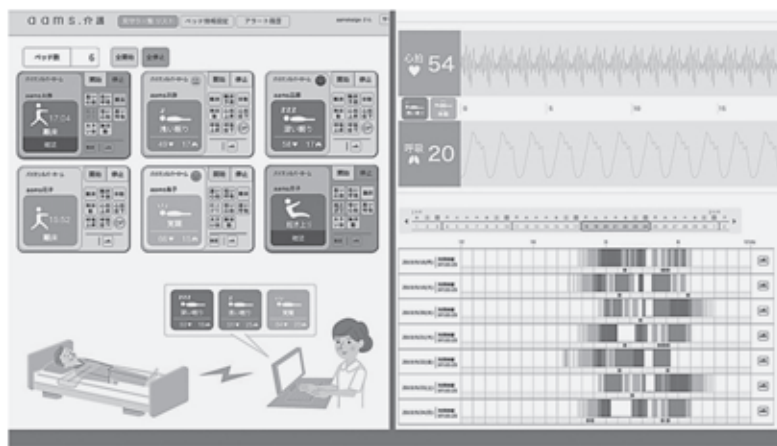
写真② aams

います。

aams導入後の関係職員からの反応としては、業務遂行時間が効率化された分、終末期ケアを必要とするご利用者にとって必要なケアが提供できるようになってきたと実感している職員が増えてきたように感じます。

ケアをさせていただく我々が意識しなければならないのは、健康状態や年齢にかかわらず、「いつか来る死について考える人」が、「生が終わる時まで最善の生を生きる」ことが出来るように支援することにあると考えます。

最後に、今回このような研究・発表という貴重な経験をさせていただき、ご利用者・ご家族・諸先輩方・同僚に感謝いたします。



写真② aams

2025.3.26

「特別養護老人ホーム」でカメを飼い始めました。

「特別養護老人ホームいずみの園」でカメを飼い始めました。

カメ（ロシアリクガメ）の名前は「ホルちゃん」ですが、「亀吉」「ボチ」「カメ」など様々な名前と呼ばれています。早速、人気者になっており、ご利用者の皆様もカメに餌をあげたり、触ったりしてとても喜ばれています。（特別養護老人ホームいずみの園）



4月10日は「いずみの園」の創立記念日です。

4月10日は「いずみの園」の創立記念日です。毎年この日の特別養護老人ホームの昼食は「開設記念食」として提供され、今年も旬の食材を使った食事でした。

「特別養護老人ホーム いずみの園」は、1978年4月10日に入所定員50名の施設としてオープンし、多くの皆様の支えを受けて、創立47年目を迎えることができました。この日を無事迎えることができたのも、温かく見守っていただいた地域の皆様、またこれまで「いずみの園」に関わって下さった多く皆様のおかげであり、心より感謝申し上げます。

これからも地域の方やご利用者の皆様から信頼を得られるよう努力してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



「いずみの園」の航空写真

「寄り合いセンターいずみ」でじゃがいもを植えました。

2025.3.6

中津市蛸瀬にある小規模多機能型居宅介護「寄り合いセンターいずみ」でじゃがいもを植えました。

職員が植え方が分からず、オロオロしていたところ、ご利用者が教えてください、また手際よく植えていただきました。

収穫は6月との事です。収穫が楽しみです。

（寄り合いセンターいずみ）



2025.3.19

「マリアガーデン」で保育参観を行いました。

事業所内保育施設「マリアガーデン」で保育参観を行いました。

今回は、5名の園児とご家族、職員の計17名で賑やかな保育参観でした。

最初に「歌とさんび」の様子を見ていただきました。子どもたちは少し緊張した様子でしたが、頑張って歌うことができました。

その後は、皆で体操をしてパパやママに抱っこされて、楽しく体を動かすことができました。

昼食では、子どもがモリモリと給食を食べている様子を見ていただきました。

子どもたちも普段と違い緊張していましたが、笑顔で活動することができ、楽しい一日となりました。

（マリアガーデン）



入居者礼拝より



ケアマンション聖愛ホームでは毎月2・3回近隣教会の牧師にお越しいただき入居者礼拝を行っています。ここでは入居者礼拝のメッセージをお伝えします。

宇佐教会・豊後高田教会牧師 竹井 真斉

「人の子らを苦しめ悩ますことがあっても、それが御心なのではない。」
(哀歌3章33節)

東日本大震災から14年が過ぎました。震災後の学校の授業で、先生がこの哀歌の御言葉に触れながら「どんな苦難も、どんな絶望もそのままでは終わらない。神はそれ自体を目的にはしておられないからだ」と言っておられたことを今でもよく思い起こします。

この哀歌が記された当時のイスラエルは、民が捕虜として連れていかれ、町も破壊された後の、国が滅んだ状況でありました。一体どれほどの悲しみがそこに満ちていたでしょうか。哀歌はその悲しみを歌います。けれどもこの3章は希望を歌います。神がこの苦難を与えたとしても、それ自身が御心ではないのだから、いつまでも私たちを捨て置かれることはないのだと、神に希望を置き続ける歌を歌うのです。私たちも人それぞれ大小苦難があります。その中で苦難に心を奪われないでいきたいのです。神が私たちを導こうとしておられる道は苦難の先にも続いています。神は私たちを決して見捨てず、苦難を乗り越えさせてくださる方なのです。

2025年3月11日の入居者礼拝

2025年採用

新卒職員さんにインタビュー!!

①部署 ②趣味 ③性格 ④好きな有名人 ⑤ひとこと(アピールポイント)

NEW FACE まつ した なお き
松下 尚樹 さん

- ①かきざサポートセンター 多世代交流課
児童発達支援・放課後等デイサービスマルコ
- ②ドライブ、喫茶店巡り、
美味しいご飯屋探し、韓ドラ
- ③自分の価値観を大切にしている
- ④キム・セジョンさん、ホン・ウンチェさん、
あいみょんさん
- ⑤意欲と向上心を持ち、自己研鑽し
頑張ります。



NEW FACE とよ た ひろ と
豊田 大翔 さん

- ①特別養護老人ホーム 介護課
- ②音楽鑑賞、おいしい居酒屋さん探し
- ③忍耐力がある、ほがらか
- ④出口夏希さん
- ⑤ご利用者にとって良い職員と思って
もらえるように知識や技術を身につけていきたいと思っています。





園内散歩

ここでは、各事業所の
“魅力”や“こだわり”を紹介します。
いずみの園の内側を
少しでも知っていただければ
幸いです。



外出ドライブ



花の苗植え



私たちの魅力

Vol.16

いずみの丘 エステル

開設：2016年8月

花の水やり



軽作業



「いずみの丘生活介護エステル」は障がいのある方々が日中を豊かに過ごす場として、生活介護の事業を行っています。

エステルでは、ご利用者のみなさんが、お花見や紅葉狩りなど季節ごとの外出行事や、園内・園外でのウォーキング、誕生日会、お花の植栽や軽作業等を行いながら過ごしています。日々の活動の中で社会との関りを持ち、それぞれのやりがいや生活の潤いに繋がればと、職員一同支援を行っています。また、ご利用者のみなさんが、エステルでの生活の中で見せてくれる笑顔や成長の様子が職員の楽しみになっています。

これからも、一人ひとりの希望や笑顔を大切に、みなさんの生活が豊かになるようお手伝いしていききたいと思います。

新採用職員研修を行いました。

4月1日(火)から3日(木)まで、新採用職員研修が行われました。今回の受講者は、新卒入職者及び昨年4月以降に入職した職員の13名です。

研修は「いずみの園の理念」や「職員としての心構え」、「各部の業務の理解」、「高齢者疑似体験」「施設見学」等を行いました。講師は理事長をはじめ施設の職員が務めました。

皆さん、これからの業務、頑張ってください。

(経営企画課)



理事長の講話

編集後記

満開の桜

今号の表紙を飾るのは、満開の桜の下、穏やかな時間を過ごされるご利用者の皆様の後ろ姿です。この心温まる一瞬を捉えたのは、同行した職員です。『きれいだね』『見られてよかった』という言葉が何よりうれしかったです。と、私たちにも喜びを届けてくれました。ゆったりと過ごされる皆様の姿は、私たち職員にとっても忘れられない光景となりました。この瞬間をいつも支えてくださる皆様と共有できることを嬉しく思います。この桜の写真が、皆様の心に穏やかな春の喜びをお届けできれば幸いです。(松)

韓国「スンシルサイバー大学」の教授・学生、 「社会福祉法人道山」職員の皆様が見学研修に来られました。

3月14日(金)、韓国の「スンシルサイバー大学」の教授と学生計13名と、晋州市にある「社会福祉法人道山」の職員6名がいずみの園に来られ、見学研修を行いました。

午前中はお互いの法人紹介や施設の取り組みを発表し、意見交換をしました。午後は各事業所へ見学に行きました。

いずみの園では10年来、韓国との交流を積極的に行っています。今後とも交流を深め、日韓両国の福祉の質向上に努めていきたいと考えております。(経営企画課)



施設見学の様子



研修の様子



2025年入職式、辞令交付式が行われました。

4月1日(火)、新卒採用された2名の職員の入職式と、昇格・異動となった役職者以上の職員への辞令交付式が行われました。

富永理事長よりそれぞれに辞令が渡され、「いずみの園は今年で47年目を迎えます。社会福祉法人の役割は大きくなっています。本日新たな業務に任命された方、新採用職員の皆さん、これからのいずみの園の将来を担っていただき、社会に通用する福祉家として力を発揮してください。」との挨拶がありました。

新たな職員を迎え「いずみの園」の2025年度がスタートしました。

(経営企画課)



辞令交付式の様子



富永理事長と新卒採用職員



マリアガーデン おひな様パレード



ショートステイ お好み焼きを作りました！

2024年度忘年会
ご協賛いただいた皆様、ご協力ありがとうございました！



乾杯の様子



マグロの解体ショー



ケアマンション聖愛ホーム ちらし寿司

✓CHECK!✓

FacebookやInstagramの「いいね」「フォロー」お待ちしております！
スマートフォンの方は上記のQRコードから読み込ませてください！



Facebook



Instagram

